

MY EIGA Collection

全国にあまたある製作団体から、毎回、1団体ずつ、ピックアップして紹介する連載開始! 1回目は from 大阪!

第1回「プロダクション・ザ・ピーマン」



次回上映の「中尾真司探検隊」は、河田秀二監督が読売TV「CINEMAだいすき/8ミリフェスティバル」に応募するために、尺を決めて製作し、見事入賞し放映されている。河田監督は、典型的な監督主演型で、伊丹映画祭で演技賞を受けた「放浪学生しゅーちゃん」シリーズ(無声映画)で見せる表情と動き。細かいキャラクター設定、オリジナリティどれをとってもピカイチである。その河田監督が率いているのが「プロダクション・ザ・ピーマン」である。(現在は本作で録音担当の長嶋氏のチームと合併し、「J Pエンターテインメント」となっており、「中尾真司探検隊2」はそこで製作されている)

チームは個性派揃いで、作品毎に役風を変えて登場する名脇役の久松広宣、JACで鍛えた赤木亮司がアクション場面を盛り上げる。また、谷基彦、長嶋利雄をはじめとするクオリティ高井8ミリ+スチールカメラスタッフ。そして特筆しておきたいのが、河田映画の女優は皆かわいいのだ! (残念ながら「中尾真司探検隊」には女優はでてこない。(文責・三野)

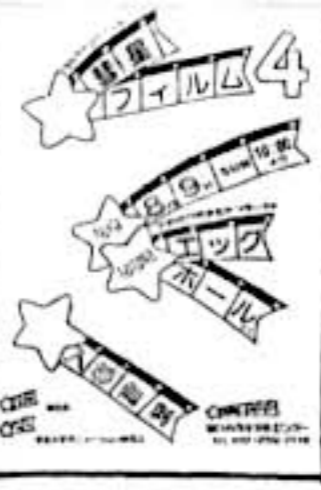
「プロダクション・ザ・ピーマン」では第1作「Love Letter」以来一貫してオーソドックスで分かり易い映画を娯楽映画を作り続けてきました。それは映画とは観客に観てもらうためのものであり、出来るなら観終わって心地よい余韻を残してもらいたいという我々の考えに基づいています。今後はピーマン映画もアクション一辺倒から幅を広げより多彩な内容の娯楽映画に取り組んでいく予定です。(プロダクション・ザ・ピーマン名場面集より)

彗星フィルム4

8/9 仙台市青年文化センターで行われたこのイベントは、全国4所(仙台、徳島、静岡、秋田)の若手で開催されるもの。それぞれの都市の主催者があのあのネットワークを中心に全国に作品を募集。20余りのP-Xが上映された。

当日は台風で大荒れの天候で、80分程度の観客。東北大P-X研のOBや、パブリック通信を使った宣伝で、東京・横浜など遠くから来っていた。

一発ギャグの発想の交差点(かんばん)、ほのぼのとしたストーリー(地球の...)など観客にうけていた。(レポート・青年文化センター・金木)



大感傷仮面 (after report)

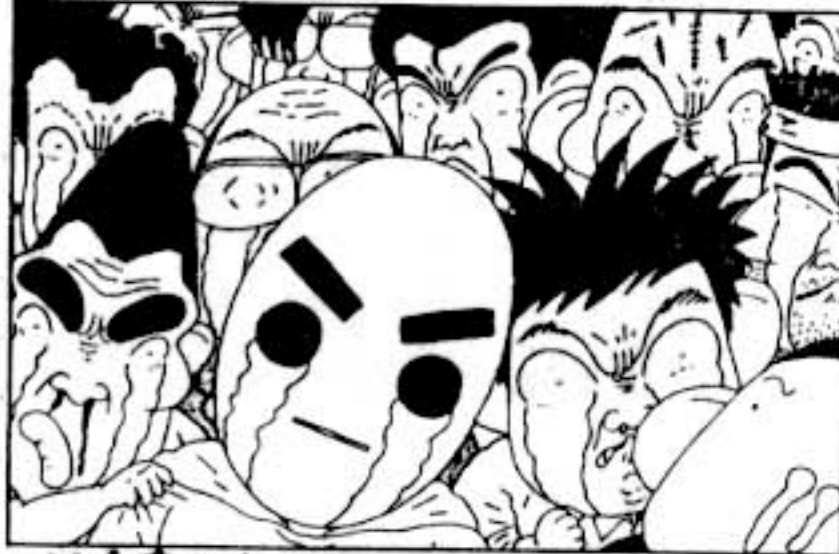
9/23 仙台より10年のいからしみきり製作のTAKAOKA監督作品「大感傷仮面」が仙台市民会館小ホールで初公開。当日は会場の中、暗い地下ホールで映画を見ることができたのだが、上映前には、いざらしきTAKAOKA監督、主演の米津牛さんの舞台挨拶なども行われ、早くも2作目の決意を話していた!。そしてスクリーンから始まったが、大感傷仮面も登場。私は笑ってしまいました。映画はやはり仙台の見慣れた風景が大画面にうつり感動。あという間の65分でした。もう一回見たい!(文責)

FF'02 フィルム速報! 12/12(土) 13(日)

この上映会は、仙台市内の大学映画研究会(映研)の合同上映会です。年に1回開催で、既に10回開催されています! 今年テーマは「ズル」だ。

詳しくは、次号の特集版だが、次ラインナップは、

- ▶ 学芸大(E)「天原(仮題)」▶ 福祉大「ターゲット1」▶ 薬科大「うどんを食う男」▶ 東北大 CCF「Turning Point」▶ 東北大「バベル」▶ 何も知らない僕が眠っている街で出会った肉体」▶ 学芸大「愛はこの情(み)から... 眼よ唇と舌」▶ 宮教大「満月の前夜曲(フルムード)」▶ 仙台高校「未走」▶ 仙台大(仮題)



特報! (こもないか... こも重要!)
11/6 東京は中野武蔵野ホールにて
ライトショー上映!! 奮闘に来い!

8mm映画の中において「ヒーロー物」と呼ばれるジャンルの作品、中でも「仮面ライダー」にインスパイアされた作品の殆どは、とんでもなく退屈な作品が多い様に感じるのには私だけだろうか?

理由としてヒーローのデザイン及び造形のクオリティの低さや演技(監督と主演の主演がナルシズムたっぷり「学芸会」以下のマスターベーション芝居をされた日にかまもう...)等が挙げられるのである。

「だったらパロディにすりゃいいじゃん」などと安易に考える輩も居るだろうが、そう云う連中はパロディにとってそのスピリットの次に物理的クオリティが大切だという事実を一生気がつかないのだ... きっと。

(念のため誤解の無い様に云っておくけど、シリアスでもパロディでも物理的クオリティだけ高ければいいとは云ってないからね!)

あと最後に、この手の作品はどうアガいてもフェイクである、「似て非なる物」であるという大命題を製作者どう捉えているかによって「見る側」が「何だか気恥ずかしい思い」になるのか「おっスゲー!」と感じるかの分かれ目なのである。

こんな生意気な事を云ってる私が今回お薦めする作品は今井監督作品「仮面ライダー」である。

「ジュニーV」シリーズや「おるぶるパニック妖精大混乱」(16mm)等の作品でお馴染みの(仙台でももうなのかね?)今井監督には珍しい男性ヒーロー映画です。勿論可愛い女の子も出ていますのでご安心を...??

これ以上はややこしい事は云わないから... なぜなら12月6日(日)の上映会で仙台初お目見えするからなのである。あとは自分の目で確かめなはれ、この幸せ者!

関西の8mm映画



MAYBE YOU AIN'T WATCHED NOTHING YET!
お楽しみはまだまだあります!!
才二回